

7月は

「社会を明るくする運動」

強調月間です

ふれあいと対話が築く明るい社会



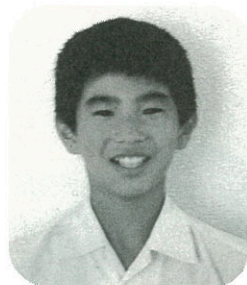
今月は、「ふれあいと対話が築く明るい社会」を全国統一標語に、又、今回の重点目標を「地域住民の理解と協力により、罪を犯した人や非行に陥った少年の更正を支える」として、「社会を明るくする運動」が展開されます。この運動は、すべての国民が犯罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。この運動の一環として発行されている小・中学生の皆さんによる文集「ひだまり」の中から次の二作品を紹介し、作品を通して、心のかよう明るい町づくりを目ざして、お互い手をたずさえていきましょう。

なお、作品は現在の学年で紹介してあります。

お年よりの
ふれあいを大切に

日置小学校 六年

先野 圭亮



今日は、とても寒い朝。ほくは、まだまだあたたかといふとんの中でいい気持ち。お母さんの声がだんだん大きく聞こえてきた。

「圭ちゃん、はよう起きんや。」

しぶしぶふとんから出ると、はく息も白く、すごうく寒い。でも、今日は、待ちに待ったもちつき集会です。

ほくは、おじいちゃんおばあちゃんたちに、もちのつき方や作り方を教えてもらうのが楽しみです。おじいちゃんおばあちゃんをランチルームに案内しました。いつも学校の行き帰りにあいさつする近所の進藤のおじいちゃんは、用事があつて来られないので、少し残念だったけど……。

（一人暮らしの進藤のおじい

ちゃんには、ほくの作ったおもちを持って行ってあげようつと。）

ランチルームいっぱい白く湯気の立ちのぼる中、おじいちゃんにもちのつき方を教えてもらい、さつそくほくも、六年の岡村君といっしょにもちをつけてみました。きねが重くおじいちゃんのようにじょうずにつけないので、おじいちゃんはすごいなあと思いました。顔中、白い粉をつけてもちをもむ人、あんこがはみ出して、うまく中に入らない人、おばあちゃんにやさしく教えてもらい、おばあちゃんの手ぬくもりが伝わってくるようでした。おばあちゃんの手は、しわがたくさんあつたけどとてもあたたかかったです。

外は寒いのに、熱気ムンムのランチルーム。おじいちゃん、おばあちゃんとおくたち、一生けん命、心をこめて作ったおもち。少し形の悪いのもあつたけれど、みんなであつあつのおもちを口にはおぼりました。できたてのおもち、ほっぺが落ちそうなくらいおいしかった。何か心の中がほんのりあたたかい気分です。

最後に、ほくは感謝の言葉